

令和4年度
(令和3年12月～令和4年11月)

環境経営レポート

令和5年3月30日

株式会社 九州総合管理

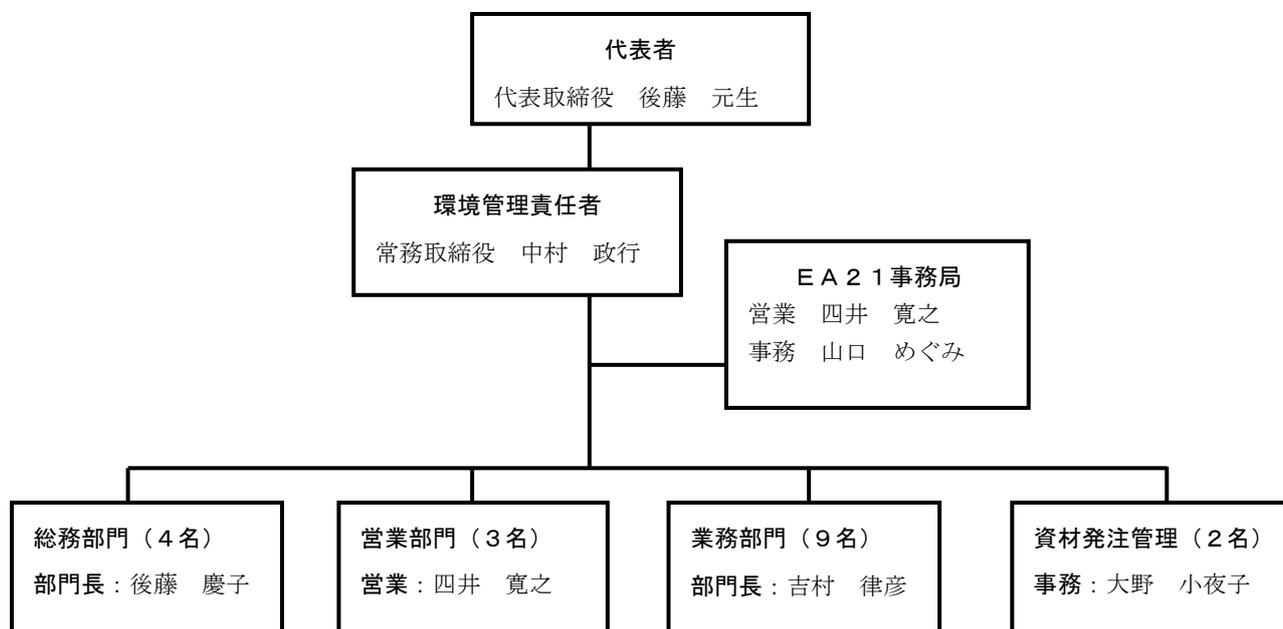
1. 組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	株式会社 九州総合管理 代表取締役 後藤 元生				
(2)所在地	本 社 〒814-0133 福岡県福岡市城南区七隈 7 丁目 24 番 22 号				
(3)環境管理責任者 担当者	常務取締役 中村 政行 営業部 課長 四井 寛之				
(4)事業の内容	ビルメンテナンス業				
(5)事業の規模	売上額: 587.6 百万円				
			管理物件		
	単位	本 社	清掃員	設備管理	警備員
	従業員数	人	17	34	2
	床面積	m ²	168		6
(6)事業年度	12 月 1 日～翌 11 月 30 日				
(7)法人設立年月日	昭和 63 年 6 月 1 日				
(8)資本金	1000 万円				

2. 認証・登録の対象組織・活動

(1)事業所名 所在地	株式会社 九州総合管理 〒814-0133 福岡県福岡市城南区七隈 7 丁目 24 番 22 号				
(2)関連事業所	本社				
(3)活動	ビルメンテナンス業				
(4)対象外事業所	なし				

E A 2 1 実施体制



3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

当社は、ビルメンテナンス業務を通じて、環境負荷の低減に努めるとともに、環境経営方針に基づいて地球環境に配慮して行動し、環境経営の継続的改善を実施します。

1. 次の事項に、重点的に取り組みます。

- (1) 事業活動における二酸化炭素排出量の削減
- (2) 廃棄物の把握および削減
- (3) 水の削減
- (4) 化学物質使用量の適量管理
- (5) 自社の環境に配慮した事業活動の実行
- (6) 顧客ニーズの多様化への対応

2. 関係する環境関連法規を遵守します。

制定日：平成 23 年 4 月 1 日

改定日：平成 30 年 12 月 1 日

株式会社 九州総合管理
代表取締役 後藤 元生

4. 環境経営目標

環境目標		単位	基準値	目標				
			平成 27 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
			H27 年 4 月～ H28 年 3 月	R2 年 12 月～ R3 年 11 月	R2 年 12 月～ R3 年 11 月	R3 年 12 月～ R4 年 11 月	R4 年 12 月～ R5 年 11 月	
1	二酸化炭素排出量の削減	(Kg-CO ₂)	34,970	33,042 H27 年実績(-6%)	32,872 H27 年実績(-6%)	32,552 H27 年実績(-7%)	32,172 H27 年実績(-8%)	
2	廃棄物排出量の把握及び削減	kg	811	770.5 H27 年実績(-5%)	762.3 H27 年実績(-6%)	754.2 H27 年実績(-7%)	746.1 H27 年実績(-8%)	
3	水使用量の削減	m ³	49.0	46.6 H27 年実績(-5%)	46.1 H27 年実績(-6%)	45.6 H27 年実績(-7%)	45.1 H27 年実績(-8%)	
4	化学物質使用量の適量管理	適量管理	適量管理	適量管理	適量管理	適量管理	適量管理	
5	自社の環境に配慮した事業活動の実行	件	年間 2 件以上					
6	顧客ニーズの多様化への対応	件	年間 2 件以上					

化学物質使用量は 2-アミノエタノールとポリオキシエチレンアルキルエーテルを足した使用量で実績や目標を記入しています。

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.584kg-CO₂/kWh(九州電力 平成 26 年度 実排出係数)を使用しています。

5. 環境経営目標とその実績

環境目標	目標 実績	単 位	R3 年度	R4 年度	次期目標 (R5 年度)	評価 達成率
二酸化炭素排出 量の削減	目標	(Kg-CO ₂)	32,872	32,522	32,172	×
	実績	総量 (Kg-CO ₂)	38,073	37,383	H27 年実績(-8%)	85.1%
電気使用量削減 (7%)	目標	kWh		6076.8	6011	×
	実績	総量		8056	H27 年実績(-8%)	85%
灯油使用量削減 (7%)、	目標	ℓ		200.88	198.7	○
	実績	総量		165	H27 年実績(-8%)	117%
ガソリン使用量削 減(7%)、	目標	ℓ		8359.2	8268.9	○
	実績	総量		8097.4	H27 年実績(-8%)	103%
軽油使用量削減 (7%)	目標	ℓ		3451.2	3413.9	×
	実績	総量		5209.4	H27 年実績(-8%)	51%
廃棄物排出量の 把握及び削減	目標	(Kg)	762.3	754.2	746.1	×
	実績	総量(Kg)	895.8	907.5	H27 年実績(-8%)	79.7%
水使用量の削減	目標	(m ³)	46.1	45.6	45.1	×
	実績	総量(m ³)	99.0	124.0	H27 年実績(-8%)	-71.9%
化学物質使用量 の適量管理	目標	Kg	適量管理	適量管理	適量管理	○
	実績	総量(Kg)	25.03	22.64		
自社の環境に配 慮した事業活動 の実行	目標	件	年間 2 件以上	年間 2 件以上	年間 2 件以上	○
	実績	総量(件)	3 件	3 件		150%
顧客ニーズの 多様化への対応	目標	件	年間 2 件以上	年間 2 件以上	年間 2 件以上	○
	実績	総量(件)	5 件	6 件		300%

・二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.584Kg-CO₂/kWh(平成 26 年度九州電力 実排出係数)を使用。

・削減目標の達成率 $\langle (\text{目標}-\text{実績})/\text{目標}+1 \rangle \times 100\%$

・増加目標の達成率 $\langle (\text{実績}-\text{目標})/\text{目標}+1 \rangle \times 100\%$

6. 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
電気使用量削減 (7%)	×	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの設定温度を決め、実行する【冷房28℃暖房20℃】 ・照明器具、エアコンを定期的に清掃する 	<ul style="list-style-type: none"> × ○ 	<p>(今年度)エアコンの設定温度を決め実行してきたが、1～3月と7、8月は急激な温度の変動により、設定温度を変更して冷暖房を入れてしまう日があった。また、エアコンフィルター等の定期的な清掃を実施したが、どの四半期も取組目標を達成することができなかった。</p> <p>(次年度)次年度はより確実に活動を実行していきたい。</p>
灯油使用量削減 (7%)	○	・ウォームビズの導入	○	<p>(今年度)ウォームビズはしっかり、実践できている。膝掛け等を使用することで灯油使用量の削減に努めている。今回は1～3月が非常に寒かった為、前年より使用量は多くなってしまったが、年間を通して目標を達成することができた。</p> <p>(次年度)次年度も継続することで目標を達成したい。</p>
ガソリン使用量削減 (7%)	○	・エコドライブ手順を決め実行する	○	<p>(今年度)エコドライブに関しては手順書(10カ条)を各車に配布し、実行の徹底を行なっている。第3、4四半期と連続で目標を達成することができ、年間を通して目標を達成することができた。</p> <p>(次年度)目標を達成できるようエコドライブを周知徹底していきたい。</p>
軽油使用量削減 (7%)	×	・エコドライブ手順を決め実行する	○	<p>(今年度)エコドライブに関しては手順書(10カ条)を各車に配布し、実行の徹底を行なっている。どの四半期も目標を達成することができなかった。</p> <p>(次年度)目標を達成できるようエコドライブを周知徹底していきたい。</p>

(2) 廃棄物排出量の把握および削減

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
廃棄物排出 7%削減およびリサイクルの推進	×	・古紙、段ボール、裏紙等のリサイクル徹底	○	(今年度)古紙、段ボールゴミのリサイクルは徹底されている。また、コピー用紙の裏紙の再利用等は徹底されているが、目標の達成にはいたらず全体としても昨年度より増えてしまった。 (次年度)廃棄物排出量の削減の意識をさらに強化して削減に努めていきたい。

(3) 水使用量の削減

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
水使用量削減 7% 節水活動の推進	×	・タオル、モップなどをまとめて洗濯 ・節水呼び掛けの張り紙の表示	○ ○	(今年度)タオル、モップ等をまとめた洗濯ができています。張り紙等も適正な場所に掲示され、また張り替え等も行なっている。 目標達成には至らなかった。また、前年度より使用量も増加してしまいました。 (次年度)水の使用量に対する意識を高く持ち削減に努めていきたい。

(4) 化学物質使用量の適量管理

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
薬剤使用量の適量管理	○	・面積に応じて使用量を算出、管理する。	○	(今年度)今年は前年に引き続き、薬剤に対する知識や表示の見方等の研修を実施した。 また、汚れに応じて希釈率を変えることで無駄な薬剤の使用を抑制できるようになりつつある。メラミンスポンジやスコッチの併用も

				清掃に取り入れている。 (次年度)薬剤の適量使用、管理はもちろんであるが、薬剤の代替できる資材や道具の導入などもさらに検討していきたい。
--	--	--	--	---

(5) 自社の環境に配慮した事業活動の実行

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
自社の環境に配慮した事業活動の提案・実行	○	・太陽光発電維持管理業務を受注する。	○	(今年度)太陽光発電維持管理業務において年間3件の仕事を施工した。 (次年度)今後も自社の環境に配慮したサービスとして確実に受注できるように努めていきたい。

(6) 顧客ニーズの多様化への対応

取組対象	達成状況	活動項目	実施状況	評価(今後の取組方向も含む)
顧客ニーズの多様化に対応した事業活動の提案・実行	○	・外壁タイル洗浄等の大規模改修工事を受注する。	○	(今年度)外壁タイル洗浄等の大規模改修工事を5件、新築工事を1件の年間計6件の仕事を受注した。
		・外壁タイル洗浄等の新築工事を受注する。	○	(次年度)今後も顧客のニーズの多様化に対応したサービスとして確実に受注できるように努めていきたい。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において関係する環境関連法規は以下のとおりである。

適用される法規制等	遵守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)	○
化管法	○
グリーン購入法	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	○
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	○
使用済自動車の再資源化に関する法律(自動車リサイクル法)	○

令和4年12月に上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション導入から行なっている取組が継続できている。

無駄を省こうという意識は生まれている。社員全員の更なる意識の向上に努めていきたい。